

令和4年の火災・救急・救助概要について

【火災概要】

1 火災件数

- (1) 令和4年の火災件数は88件で、前年と比較すると12件の増加となっています。
- (2) 火災種別毎の火災件数を前年と比較すると「建物火災」は51件で7件の増加、「林野火災」は3件で3件の増加、「車両火災」は10件で増減はなく、「その他火災」は24件で2件の増加となっています。
- (3) 全火災(88件)のうち「建物火災」の占める割合は58.0%となっています。

市町別 \ 火災種別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	増減数
加古川市	34	3	10		18	65	+5
稲美町	11				4	15	±0
播磨町	6				2	8	+7
合計	51	3	10	0	24	88	+12
増減数	+7	+3	±0	±0	+2	+12	

2 被害程度

(1) 人的被害

ア 火災により、28世帯68人がり災しています。

イ 「死者」は2人発生しており、前年と比較すると4人の減少、「負傷者」は13人発生し、6人の減少となっています。

市町別 \ 区分	り災世帯数 (世帯)	り災人員 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
加古川市	22	52	2	9
稲美町	2	7		3
播磨町	4	9		1
合計	28	68	2	13
増減数	-10	-20	-4	-6

(2) 物的被害

ア 建物火災の焼損床面積は 1,123 m²で、前年と比較すると 3,344 m²の減少となっています。

イ 建物火災による損害額は 4,727 万 9 千円で、前年と比較すると 1 億 7,505 万 5 千円の減少となっています。

区分 市町別	建物焼損 床面積 (m ²)	床面積 増減 数 (m ²)	損害額 (千円)	損害額 増減 数 (千円)
加古川市	857	- 2,824	39,731	- 150,131
稲美町	237	- 549	6,786	- 25,681
播磨町	29	+ 29	762	+ 757
合計	1,123	- 3,344	47,279	- 175,055

3 主な出火原因

全ての火災 (88 件) のうち、主な出火原因は、「たき火・焼却火」が 17 件で全体の 19.3% と最も多く、次いで「こんろ」が 9 件、「放火」が 6 件、「電灯・電話等の配線」が 5 件、「たばこ」、「排気管」が 4 件となっています。

市町別 原因別	加古川市						稲美町						播磨町						合計
	建 物	林 野	車 両	船 舶	その 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その 他	小 計	
たき火・焼却火	5	1			5	11	4				2	6						0	17
こんろ	8					8					0	1						1	9
放火	2				3	5				1	1							0	6
電灯・電話等の配線	3				2	5					0							0	5
たばこ	1		1			2					0	1					1	2	4
排気管			4			4					0							0	4
配線器具	3					3					0							0	3
溶接機・切断機	1					1	2				2							0	3
ストーブ	1					1	1				1							0	2
電気機器	1					1	1				1							0	2
内燃機関			2			2					0							0	2
マッチ・ライター	1				1	2					0							0	2
灯火	1					1					0	1						1	2
衝突の火花			2			2					0							0	2
放火の疑い		1				1	1				1							0	2
ボイラー						0	1				1							0	1
その他(上記以外)	5		1		4	10	1			1	2	2					1	3	15
不明	2	1			3	6					0	1						1	7
合計	34	3	10	0	18	65	11	0	0	0	4	15	6	0	0	0	2	8	88

4 その他災害の活動状況

(1) 令和4年のその他災害の件数は1,436件で54件増加しています。

(2) 主な種別毎に前年と比較すると「危険物排除」は79件で17件の増加、「誤報」は142件で19件の減少、「救急支援」は1,030件で54件の増加となっています。

(3) 全その他災害件数のうち、「救急支援」の占める割合は71.7%となっています。

種 別	内 容	加古川市	稲美町	播磨町	他 市	小 計	合計	増減数
危険物排除	施設等から危険物の流出	1				1	79	+17
	交通事故等による油流出	61	8	9		78		
燃焼物排除	たき火・焼却火	19	11	2		32	33	+6
	火あそび	1				1		
警戒・警備	異臭・異音	3	2			5	41	+2
	危険物流出事故の警戒	10				10		
	防災ヘリ等の離着陸場の設定、誘導、警戒	20	1	1	1	23		
	建物等の倒壊、落下に対する警戒	2				2		
	鎮火後の現場警戒	1				1		
誤 報	自動火災報知設備等の誤作動又は誤操作	97	4	15		116	142	-19
	火災と見誤ったもの (たき火の煙、水蒸気等)	21	1	2	1	25		
	虚偽の通報			1		1		
水 防	風水害等の活動又は警戒	15	3	3		21	21	+4
調 査	事後に知り得た災害事故調査	8	1			9	9	+2
救 急 支 援	心肺機能停止状態が疑われる場合の支援	649	79	85		813	1,030	+54
	安全管理を要する道路における支援	100	5	13	3	121		
	傷病者の搬出における支援	52	6	10		68		
	その他	22	2	4		28		
そ の 他	上記の種別に該当しないもの	63	12	6		81	81	-12
合 計		1,145	135	151	5	1,436	1,436	+54

【救 急 概 要】

1 救急出動件数

(1) 令和4年の救急出動件数は過去最多の18,810件、搬送人員数は16,946人で前年と比較すると救急出動件数は3,152件増加(+20.1%)、搬送人員数は2,374人増加(+16.3%)しています。

(2) 救急出動件数は1日平均51.5件(前年42.9件)で、27.9分(前年33.6分)に1回の頻度で救急出動しています。また、1日の最多救急出動件数は89件(前年66件)で過去最多となっています。

(3) 現場到着所要時間の平均は8.9分(前年比+0.5分)となっています。

区分 市町別	救急件数	増減数	搬送人員	増減数
加古川市	15,103	+2,473	13,557	+1,831
稲美町	1,773	+343	1,662	+310
播磨町	1,903	+320	1,697	+218
他市	31	+16	30	+15
合計	18,810	+3,152	16,946	+2,374

2 事故種別別の救急出動件数

事故種別別の救急出動件数については、「急病」が12,568件で最も多く、前年より2,423件増加し、全体の66.8%を占めています。

事故種別 区分	急病	一般負傷	交通	転院	その他	合計
件数	12,568	2,842	1,335	1,239	826	18,810
比率	66.8	15.1	7.1	6.6	4.4	100.0
増減数	+2,423	+394	+53	+105	+177	+3,152

※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

3 傷病程度別の搬送人員数

傷病程度別の搬送人員数については、「中等症」が7,596人で最も多く、前年より565人増加し、全体の44.8%を占めています。

傷病程度 区分	軽症	中等症	重症	死亡	合計
人員数	6,985	7,596	2,100	265	16,946
比率	41.2	44.8	12.4	1.6	100.0
増減数	+1,600	+565	+181	+28	+2,374

※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

4 年齢区分別の搬送人員数

年齢区分別の搬送人員数については、「高齢者」が10,410人で最も多く、前年より1,596人増加し、全体の61.4%を占めています。

年齢区分 区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
人員数	6	1,064	783	4,683	10,410	16,946
比率	0.0	6.3	4.6	27.6	61.4	100.0
増減数	-1	+220	+274	+285	+1,596	+2,374

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。
※統計表中の「0.0」は、単位未満の数を示しています。

5 病院収容所要時間別の搬送人員数

(1) 救急事故の覚知から傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は、「30分以上60分未満」が11,018人で最も多く、全体の65.0%を占めています。

(2) 病院収容所要時間の平均は39.7分（前年比+4.3分）です。

所要時間 区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間
人員数	2	410	3,981	11,018	1,414	121	39.7分
比率	0.0	2.4	23.5	65.0	8.3	0.7	
増減数	-1	-121	-705	+2,370	+754	+77	

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。
※統計表中の「0.0」は、単位未満の数を示しています。

6 心肺機能停止傷病者の救命率

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者63人のうち、「1か月後生存者数」は10人（1か月後生存率15.9%）、「1か月後社会復帰者数」は6人（1か月後社会復帰率9.5%）となっています。

年	区分	心肺機能停止 傷病者数	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者数				
			1か月後 生存者数	1か月後 生存率	1か月後 社会復帰者数	1か月後 社会復帰率	
令和4年		340	63	10	15.9%	6	9.5%
令和3年		308	50	4	8.0%	3	6.0%

7 新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）の搬送人員数

新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）の搬送人員数は2,035人で、このうち陽性者は1,172人です。

市町別	区分	新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数			
		総数	増減数	うち陽性者数	増減数
加古川市		1,588	+1,217	915	+699
稲美町		238	+211	144	+136
播磨町		208	+182	113	+97
他市		1	+1	0	0
合計		2,035	+1,611	1,172	+932

【救 助 概 要】

1 救助出動件数

(1) 令和4年の救助出動件数は328件で、前年と比較すると6件減少しています。

(2) 事故種別毎の救助出動件数で、「建物等による事故」が163件(49.7%)と最も多く、次いで「交通事故」の63件(19.2%)となっています。

なお、「建物等による事故」とは、「施錠された建物内での安否確認」のほか、建物内での「閉じ込め」や「挟まれ」等も含まれています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
加古川市	32	44	5			138	3	35	257	- 10
稲美町	5	8				10		5	28	- 2
播磨町	3	4	5			15		7	34	- 1
他 市	1	7						1	9	+ 7
合 計	41	63	10	0	0	163	3	48	328	- 6
前年比	- 1	- 9	+ 7	- 1	- 3	+ 4	±0	- 3	- 6	

2 事故種別救助人員数

(1) 救助人員数は157人で、前年と比較すると13人の減少となっています。

(2) 事故種別毎の救助人員数で、「建物等による事故」が95人(60.5%)と最も多く、次いで「交通事故」が38人(24.2%)となっています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
加古川市	1	27	2			79	2	10	121	- 13
稲美町		7				7		2	16	- 3
播磨町		1	3			9		3	16	+ 1
他 市		3						1	4	+ 2
合 計	1	38	5	0	0	95	2	16	157	- 13
前年比	- 7	- 3	+ 3	- 1	- 2	+ 1	+ 1	- 5	- 13	

3 傷病程度別救助人員数

(1) 事故種別・傷病程度別救助人員数を前年と比較すると、「死亡」は46人で8人の減少、「重症」は22人、「中等症」は42人で増減はなく、「軽症」は18人で3人の減少となっています。

(2) 傷病程度別救助人員数で、最も多いのは「死亡」で、全体の29.3%を占めています。

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
死亡	1	1	4			37	2	1	46	- 8
重症		10				11		1	22	±0
中等症		17	1			19		5	42	±0
軽症		8				6		4	18	- 3
その他		2				22		5	29	- 2
合計	1	38	5	0	0	95	2	16	157	- 13
前年比	- 7	- 3	+ 3	- 1	- 2	+ 1	+ 1	- 5	- 13	